

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年 3月 28日				
福知山市児童発達支援センターすきっぷ						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2		対象児の実態に合う教材（モデル）の提供をしている。 すきっぷにあるボードゲームや、プレイルームの描画グ ッズなどを活用している。	今後もご利用児の特性に応じた教材を準備 していく。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	1	現場業務にあたる時間の確保が難しい。	訪問業務と、児童発達支援事業や放課後等 デイサービス事業の現場に入る業務につい て、整理をしながら時間の確保に努める。
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	1	1		PDCAサイクルを作成し、共有する。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	1	1		今年度まで保護者評価はなかったため、今 後は保護者向け評価表をもとに業務改善に努 める。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	1	1		今後、丁寧に従業員の意見等を把握できる よう努める。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		2		スタッフ間での共有を行い業務改善を行っ ていく。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	2		スーパーバイザーの先生によるスーパーヴィジョンを受け ている。 研修を受ける機会は確保されており、資質向上に役立っ ている。	今後もスタッフの資質向上に向け、研修を 受講する機会等を確保する。
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	2			今後も継続して取り組む。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1	1		今後、児童発達支援管理責任者だけでな く、担当訪問員なども含めて共通理解を得ら れるよう努める。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		事後にカンファレンスの時間を設定している。	今後も継続して取り組む。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	1	1		十分共有できていないこともあるため、す べてのケースで共有できるよう努める。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマ ルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	2			標準化された心理検査や、訪問時の行動観 察を行うなど、様々なアセスメントを行っ ているため、今後も継続して取り組む。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	2			今後も継続して取り組む。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	1	1		十分共有できていないこともあるため、す べてのケースで共有できるよう努める。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。		2	常に報告はしているが不十分であると思う。 保育所等訪問支援事業のみの契約者が多く、 すきっぷ内での連携は十分行えていない。	保育所等訪問支援事業のみの契約者につい ても情報共有に努める。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		2	常に報告はしているが不十分であると思う。 保育所等訪問支援事業のみの契約者が多く、 すきっぷ内での連携は十分行えていない。	保育所等訪問支援事業のみの契約者につい ても情報共有に努める。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	2			今後も継続して取り組む。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	2			今後も継続して取り組む。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	2			今後も継続して取り組む。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		相談支援事業所とのサービス担当者会議や、 関係機関との会議には、訪問担当者が出席し ている。	今後も継続して取り組む。

関係機関や保護者との連携	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2			必要に応じて医療機関等と連携できているため、今後も継続して取り組む。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		小学校から中学校へ進学するケースについて、進学先と協議の上訪問を継続できるよう連携を行っている。	今後も継続して取り組む。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		スーパーバイザーの先生から助言を受けている。外部研修についても必要に応じて参加している。	今後もスタッフの資質向上に向け、研修を受講する機会等を確保する。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2			関係機関との会議や連携の機会があれば積極的に参加していく。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2			今後も継続して取り組む。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	1	保育所等訪問支援事業の保護者を対象として保護者会等は実施できていないが、今後保護者等のニーズに応じて開催を検討したい。	今後も保護者のニーズを聴き取りながら、必要に応じて家族支援プログラムを実施することも検討する。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2			今後も継続して取り組む。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2			今後も継続して取り組む。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2			今後も継続して取り組む。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2			今後も継続して取り組む。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2			今後も保護者との面談の機会等を通じて、丁寧な対応を心掛ける。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	1	保育所等訪問支援事業の保護者を対象として保護者会等は実施できていないが、今後保護者等のニーズに応じて開催を検討したい。	今後も保護者のニーズを聴き取りながら、必要に応じて保護者同士で交流する機会等を設けることを検討する。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2			今後も継続して取り組む。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	1	すきっぷのホームページにて心理士として発信している。ホームページの活用がたまにあるが不十分であると思う。	訪問支援は個別の対応であるため、今後ケースが特定されないよう改変した上で、どのような事業であるか発信に努める。
訪問先施設への説明等	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			今後も継続して取り組む。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2			今後も継続して取り組む。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2			今後も継続して取り組む。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2			毎回設定することも難しい訪問先もあるが、今後も定期的なカンファレンスを行っていく。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2			訪問後は家族等へ報告を行っているため、今後も継続して取り組む。
非常	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			今後も継続して取り組む。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2			今後も信頼関係の構築を大切にしながら、事業を展開していきたい。
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2			今後も継続して取り組む。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2			今後も継続して取り組む。

時 等 の 対 応	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2			今後も継続して取り組む。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2			今後も継続して取り組む。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2			今後も継続して取り組む。